

Book Fan Newsletter

発行：平成24年7月15日

編集：塩尻市立図書館

0263-53-3365

(Book Fan Newsletter 1号)

平成24年7月より、塩尻市にいくつかある書店のうち市内に本店を置く、神田堂・興文堂書店・中島書店・丸文書店による、おすすめの本の紹介を定期的に発行いたします。

塩尻市立図書館では、同じ本を複数冊買うことを減らし、その分幅広いジャンルから本を買っています。話題の本などは予約が多く入ると、長期

でお待たせしてしまう場合もありますが、書店へ行くとすぐに購入できることも。便利に使い分けていただき、充実した読書ライフをお過ごしください。

「Book Fan Newsletter」が、みなさんと本との新しい出会いにつながれば幸いです。

『つなみのえほん ～ぼくのふるさと～』

くどうまゆみ (著) 市井社



この絵本は、宮城県南三陸町に住む作者が、東日本大震災の体験を書いたもので、「ひとり／買い物途中の／大地震／道にしゃがんで／子の名を叫ぶ」といった五行歌に絵と文を加えることで、大地震で逃げ惑う緊迫した様子や、避難所での人と人の絆などが私たちに伝わってきます。

日頃から防災意識を持ち、大人が子どもに伝えていくのにも最適な本です。

神田堂 大塚さん

『高校生からわかる原子力 池上彰の講義の時間』

池上彰 (著) ホーム社



東日本大震災から一年あまり経過しましたが、原発に関するニュースは途絶えることはありません。

ですが「原子力」について理解できているかと問われたら自信を持って答えられる人は少数

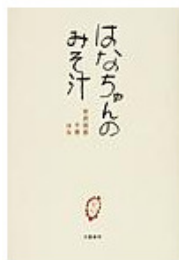
だと思えます。

原子力の発見、そして第二次世界大戦で兵器となる歴史を辿りつつ、今日までどのように利用され、私たちの暮らしに関わってきたか、原子力の問題点とは何か、をわかりやすく解説してくれる本です。何となくわかった気である原子力、今一度勉強し直してみませんか？

興文堂アイシティ店 福田さん

『はなちゃんのみそ汁』

安武 信吾 (著) 文藝春秋



乳がんで逝った若い母親がまだ幼い娘に遺したこと、それは「(自分で)朝ご飯の支度をする」という約束でした。

「食べることは生きること」。生と死とに向き合う中で気づいたそのシンプルなテーマに、母親は、寄り添ってやることのできない娘の「未来」を託したのです。

可愛い盛り of 一人娘と愛情深い夫に看取られて彼女が旅立つ場面は、実話だけに胸に迫るものがあります。

小さな手のひらで豆腐を切って、今朝もみそ汁を作るはなちゃん。彼女の小さいながらも確実な歩みが読者の心をあたため勇気づけます。

中島書店高原通り店 小野さん

『ゆっくとすっく ～いっぱい たべたら～』

さこももみ (え) たかてらかよ (ぶん)

ひかりのくに



「実生活にとりいれやすく効果もありました！」など好評の声ぞくぞく…。

ゆっくとすっくシリーズ最新巻。

今、話題となっている“食育”がテーマです。

『いっぱいたべたら、どうなるのかな？たべることが、もっともっとたのしくなるよ♪』

ぬくもりのある、かわいい絵本。

親子で楽しく食育にとりくめそうです。

丸文書店ウイングロード店 金子さん

(書店名五十音順)